

問8 部活動の地域移行について、ご意見をお聞かせください。(抜粋)

※回答原文から一部語句を修正しています。

【部活動の地域移行とは】

スポーツ庁は、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行していくこととし、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革集中期間と位置づけ、体制の整備を行っていくこととしています。

これは、教員が経験のない競技の指導をせざるを得なかったり、休日の指導や大会の引率を求められたりすることで、教員にとって部活動指導が大きな負担となっていることに加え、近年、中学校の生徒数減少が加速化しており、部活動の形を維持していくことが困難な状況であることを踏まえたものです。

教職員の働き方改革の一環からも、教職員を支える地域の体制づくりは必要。しかし、部活動は教育活動として実施されており、学校が地域のサポーターとどのように意志疎通を図っていくのか、教職員は人事異動で数年で担当が代わり、地域にも子ども達の人材育成と考える人や勝敗にこだわる人など様々な考えの方々がおられます。まずは、受け皿となる地区範囲を指定し、その中でリーダー的な人材の発掘が必要だと考えます。

経験の有る地域の方に指導してもらうのが良いと思います。学校のカリキュラムの関係もあるので補佐役として始めて、徐々に移行する形が良いと思います。

専門家に指導してもらう方がよいでしょうが、その経費が全額保護者の負担となれば実現困難でしょうか。企業参画しやすいような、例えば税制改正などの新たな仕組みが必要ではなからうか。

学校の先生の仕事が減らないのであれば、積極的に移行するべき。学校の先生とクラブチームの先生のやり方が違ったりして、チームの中で子どもたちがまとまりが悪くなるのは避けたい。早めに完全移行したほうがよい。中途半端が一番よくない。

私自身が内容を知らないためか、部活動を地域に、というイメージがわかりません。「地域」とひとくくりにしても、誰が担当するのか、その誰かは誰が選ぶのか、スキルはあるのかなど具体的なことがわかりませんため、現状で意見等は出せないのですが…。ただ、どこに移行するにしても、移行先で新たな負荷や問題が発生しないかなどのアセスメントが重要と感じます。ボランティア精神ありきでないことを願います。

部活動はスポーツ関係のものが主流となっておりますが文化系の部活動についても充実をしてはいかがでしょうか？一校では参加者が少なくても数校を集めて活動する方法は考えられないでしょうか？

部活動自体がなくても良いのではないかと思います。少子高齢化で、チームを作るにしても人数が足りない学校もあるし、有名な指導者がいる学校に越境してまで進学する生徒もいるので、専門的な指導を受けられるところに、各自が行けばいいのではないかと。そういうところでは有料になるため、経済的に困難な生徒には補助金を出すなど、また、遠方であれば送迎の車等の対策も考えなければならぬが…

教員の負担も大変だと思います。専門知識のない教員が指導するよりも、週に一度でも専門知識を持った人に指導を受けることができれば、生徒にとっても刺激になり、何とんでもスキルアップに繋がると思います。勿論、有料になると思いますが、部費として、生徒で負担していかなければいけないと思います。親として、当然のことだと思います。

親や先生の負担が少なくなるような形が望ましいと思います。やりたい人はどんどん進める、ほどほどの人はほどほどで頑張れる環境があるといいと思います。

過度な活動にならないように、部活動の教育課程の位置付け・目的・スポ少との違いを明確にし、それに沿った指導をしてほしい。部活がやりたい先生には勤務校ではなく、お住まいの地域の学校で指導してもらいたい(有償になると副業になる?)。先生は勤務地の行事は出ても(仕事だから?)、住んでいる地域の行事とかは出ない印象がある。文化部も運動部と同等に考えてほしい。勤務時間外なのに…朝練の見直しもしてほしい。

教員が経験のない競技の指導をせざるを得なかったり、休日の指導や大会の引率を求められたりすることで、教員にとって部活動指導が大きな負担となっている。→結局、教員から地域へのすり替えだと思う。指導者云々ばかりでなく部活動そのもののシステムを考えるべき。民間に移行するにしても、その競技に接する機会の平等性や費用など、先に解決すべきことはいっぱいあると思う。また積極的に負担を背負おうとする教員もいる。

大まかには賛成です。生徒数の少ない学校では先生の数も当然少なく未経験で指導のできない部活に配属された先生、もっと頑張りたい生徒とのミスマッチは実際ありました。外部からの経験者での指導の部活も見てきましたが、子ども、保護者ともに納得できるなと思った記憶が有ります。しかし安全面、コンプライアンス、金銭面、責任の範囲等しっかりとした取り決めが必要ではないかとは思っています。

先生方の負担は大きいのだと思うが、元教員の友人が鍵の管理や生徒が怪我をした場合など考えればキリがないほど懸念事項があり、現実的に思えない。部活の意義は理解しているが、そこまでのボリュームのものを学校にしろ地域にしろが任される、そこをもう考え直す時だと思う。学外の民間で個々にやれば良い。金銭的にどうのという生徒があればその活動を持って社会に還元できるようなプログラムを考え、補助をしてあげればよい。

教員の負担軽減の観点では良いと思うが、一律ではなく、地域の実情(都市計画地域、市街化調整地域等)も考慮する必要があると思う。

教員の負担が減るのはいいことだと思う。また、子どもを地域の方をはじめ、社会で見守るといったことにもつながり、歓迎されることだと感じる。反面、責任の所在を明確にする必要があるし、良かれと引き受けたが、何かあった場合にすべての責任を背負わされるのであれば、受け手は減ってしまうのではないか。

学校で教えることや事務作業が増え、教員にとって部活動は負担なので、地域移行は仕方が無い。「費用負担が増える」と言われるが、今まで場所や指導者を無料で使ってきたことが例外であった。スポーツや音楽などの部活動をしたい人は適正な負担をすべきである。

父が中学教師だったので顧問をしている部活動により、土日あまり自宅にいなかった。自分はさみしいと思わなかったし、退職後の今も指導員として活動(有償ボランティア程度??)しているので、それはそれでよかったと思う。ただ、特に子育て世代の現役教師にはまさに顧問とはブラック企業そのものであり、地域移行すべきだと思う。

各地域で置かれている状況は全く違うと思うので、国が言う通りに動くのは愚策だと思う。そもそも、国の方針は大都市のみしか念頭になく、地方自治体として反対案を提示すべき。

教員の負担を減らすために必要であると思うが、地域としてどのような形で協力すべきなのかがわからない。地域移行の前に近隣他校との合同部活動などの方向も検討するべきだと思う。

地域の間人も暇ではない。休日指導と大会の引率は昔からやっていること。教員でなく、会社員だって休日返上の仕事はある。教員が別に特別に大変なわけではない。負担と思うなら、教員の期末手当をやめてプロのコーチや音楽家等を市や県が雇えばよい。顧問としてスポーツを続けたいから教員になった人も沢山いる。経験のないスポーツでも仕事ならやるべきだ。会社員は仕事なら何でもする。わがままを言うてはいけない。

部活動が教員の負担になっていると思うが、地域での活動となると学校生活の部活動という位置付けではないように思える。

時代の流れとして当然そうなるべきものであると感じるが、それまでの学校側で対応していた、表に出ない負担を、地域にどのように補償していくのかがまず決まっていかなければ、先が見えてしまう。

制度としてはよい仕組みだと思う。地域任せにせず、学校との連携作りが必要だと思う。部活内の問題(いじめなど)が起きた時に、指導者任せにするのか、学校がきちんと介入できるのか。指導方針や力量についても、指導者によって、ばらつきはあると思う。その辺りが上手く学校がコントロール出来るのか。子供達が安心して参加出来る部活動を学校と地域とで協力し合える仕組み作りが必要だと思う。

子供が中学生でスポーツの部活に入っています。地域に移行すると、別に費用がかかるのか、などが知りたいです。指導者は、地域のボランティアなのか、経験の豊富なコーチなのかでも違いますし。詳しくはまた知らされるのでしょうか。

先生の負担や責任が重すぎる。親が学校に期待しすぎる感もある。何を求めるかで、内容も異なるので、もっと専門的にやりたい人は、外部のクラブを利用してもらうのが良い。学校はあくまで教育の一貫にすぎないのだから。

小学生は部活がないので地域のスポーツ少年団での活動をしていた(剣道)。中学生、高校生でもその活動の延長で活動できるような仕組みがあれば、無理に部活に縛られる必要はなさそう。

部活動を教員の仕事と位置づけるなら、時間外手当を支給するのは当然である。部活動が学校教育の一環であるとしても、それに関わる人(教員)が時間外で指導するならば、間違いなく時間外の労働であり、これまで過去からの因習が続いていたことも教員を疲弊させる一因であった。教員の自己犠牲の上に成り立つ部活動では無く、学校の部活動を再定義し、あるべき部活動の姿を作っていく上で地域移行には賛成です。

教員への負担軽減になり専門家の指導を受けられることには賛成ですが、物価向上し続けているので家庭の負担金額が増えることが心配です。金銭的な負担を受け入れられず部活を辞める子どもが増えるかもしれませんね。

学校教育の範囲で部活動を行うなら指導要領を参考に教員が就業時間内に指導すればいい。それ以上を望むのなら、有志で指導者を雇えばいい。自分が望む指導を無償で得ることが当たり前になるから、教員が疲弊する。ボランティアでの指導を希望する人は、指導者の時間を奪っていることを自覚するべき。貧富の差で指導者の有無があることが問題になるのならば、特待生になれるくらい部活動内で努力すればいい。

少年サッカー指導者を30年近くやっていました。サッカーの場合は日本サッカー協会の指導方針を実施しようと指導者講習と資格を交付しています。ドイツでは近所でサッカーを教えるのにもコーチ資格がいりますが、それをモデルにしています。一般人に部活の指導を任せることは教職員の負担軽減や、指導力不足を補う上では賛成ですが、各種スポーツ協会の指導要項に沿うことも大切で、自論だけの指導に陥らないようにすべきです。

全国大会出場レベルを望むのか、スポーツを楽しみながらやりたいのかで指導者も体制も変わってくると思うので、前提条件を明確にして取り組まなければ大きな問題になると思う。尚、中学校の先生は負担が軽減されるので、勉強だけを教えるのではなく、実験・実習や体育など学習塾ではできないようなことを豊富に盛り込み、生徒が楽しい学校生活を過ごせるようにしてもらいたい。

指導するのが先生であれ地域の人であれ、最低限以上の対価を払って持続可能な形にするべき。

教員の負担を減らすこと、部活動を通じて専門的な指導の機会を得られること、どちらも良いことだと思います。しかし、指導者が教員でなくなることは、指導者はこれまで以上に結果が求められる風潮になることが予想され、そのことによる体罰や過渡的な練習が行われることは避けなければならないです。体制の整備では、そのあたりも検討していただきたいです。

平日も可能な限り移行して行けば良い。教師が必要以上に厳しく強制し、結果ばかりを求めるスパルタ式の活動ではなく、スポーツの楽しさを知る機会、将来も純粋にスポーツを楽しめる人間になれるような指導をして欲しい。まず、指導員にそういう教育が必要である。残念ながら私の時代にはそうではなかった。強制され、指導教師を恐れ、卒業したら二度とそのスポーツをしたくないと思う指導であった。

子どもも部活をしていましたので、親のサポートも大変でしたが、先生方も大変そうでした。下の子どもは部活が合わず、クラブチームに入りました。部活の形ではなくても、やりたいことがあればクラブチームも選択肢だと思います。金銭的に市で強化費を公平に援助して頂けたら、子ども達の未来にも繋がるのではと考えます。

先生方は勉強面で大変だと思うので、部活動まで行くと負担がかなり大きいと思う。積極的に外部に委託することはとても良いことだと思う。ただ、金銭的に負担が大きくなると親としては大変になるなども感じる。あまり負担がすごくなければ、多少の負担は仕方ないと思う。

高校生を利用するなど、柔軟にかつ積極的にすすめてもらいたい。

教職員は、週休二日制度の取り組みはないのでしょうか。地方では、生徒の移動にハードルがあるのではないのでしょうか。移動で公共交通機関を利用する場合、移動に係る費用は自治体が負担するのでしょうか。地域に移行した場合、指導者への報酬はどのようにお考えでしょうか。地域のクラブ等に入会する場合の入会金等の諸経費の負担はどうなるのでしょうか。

生徒への部活動指導は経験者なり指導資格保持者であるべきであると思います。保護者としては子どもたちが安全に行き帰りが出来る場所での活動を求めたいです。遠征の引率は指導者とは別に必要に思います。子どもたちにとって部活動が、プロから学ぶ技能習得を喜び楽しむ時間になり、将来の夢や糧にしてほしいです。

教員の負担軽減のため賛成。国の考えを踏まえ、早期に業務内容を把握し、地域に示すための説明会を開催すべき。そうしないと課題や対策を検討することができない。方向性が決まっていることを市民モニターに聞くことではない。担当課の仕事の進め方に自信のなさが伝わってくるよう。

部活動が先生の大きな負担になっているという先生を守ることを重視しているような制度は真面目に一生懸命に部活動をしようとしている生徒の頑張りを奪うことになる気がします。地域移行をスムーズにできる中学校とそうでない中学校で差が出てしまうような気がします。この制度が進む中で先生の中には部活動を生徒と精一杯頑張りたいと思っている先生が身動き取れない状態になってるのを目の当たりにしたことがあります。残念です。

地域で休日に指導しようという経験者を募るのは簡単なことではないなと思います。中学の部活に専門性を強いるのはどうかな？とも思います。楽しく出来たら良いと思うし。教員の負担という話は良く聞くので、地域でカバーしたいという事も理解できます。経験者や専門家でなくても、お世話をしたいと思う地域住民を募るようにしたら良いのかもしれない。

問9 倉敷市のスポーツ振興に必要なことは？(抜粋)

※回答原文から一部語句を修正しています。

・イベントの開催

高梁のヒルクライムのような自転車の大会があれば是非とも参加したい。
市内または近隣市町村も含む、自転車ロングライド大会を実施してほしい。
小さな子供からお年寄りまで、スポーツを楽しく継続出来るようなイベントを考えて欲しい。発達障害児を持つ母親達も参加できる、親子のスポーツイベントもあれば良いです。
今年も水島中央公園であったスポーツイベントを今後も開催してほしいです。
おかやまマラソンみたいに、する人、支える人、見る人が一体となるようなイベントの開催。

・機会の拡充

倉敷体協のHPを見てもスポーツをしている人向けの内容が多いです。広報で色々な講座を見ますが、インドアが主で初心者にはスポーツ振興に関わりにくい印象があるので、倉敷市民全員が楽しめるような取り組みを期待します。
市が募るスポーツは、募集に往復はがきを利用してアナログだなと思います。オンラインでの募集も1人ずつしか応募できず、友人と参加したいと思っても当たり外れがあるのでそこでも二の足を踏みます。オンラインヨガとかあれば家でもできるのでやってみたいです。
野球、ゴルフ、バレーボール、サッカー、グランドゴルフ等の本格的なチームでは無く、誰でも気軽に参加できる体制作りが重要である。コミュニティ協議会、町内会の活用も必要と考えます。
平日昼間のスポーツが多いので、フルタイムの仕事でもできる夜や休日でも出来る教室を作ってほしい。また、同好会などの気軽に誰でも参加できるような大人の部活動ような場所を作るか、情報が知りたいです。
なるべく年齢が小さいうちに、色々な動きを「楽しく」体験できるといいと思います。また、体験会やスポーツイベントが行われていますが、定員や頻度が少なすぎます。(年齢制限で参加できなかったり、定員オーバーで抽選、年に一回の開催で前年参加したら今年は参加できないなどなど)毎回応募が溢れるなら、門戸を広げてもらいたいです。
岡山市のように、スポーツに触れ合える機会を積極的に設けてほしい。きっかけがもう少しあって良いと思う。

・施設整備

サイクリングロードとジョギングコースがある公園の整備。
スポーツ振興に必要なものは施設の充実。市民誰もが利用出来る施設、障がい者や車椅子の人でも利用でき、スポーツで交流ができる体制やルールを整備する必要があると思う。
体育館の無料解放や、体育館に併設して、気軽に利用可能なジムを作って欲しいです。
身近に利用出来る施設が少ない。高い月額会費を支払って皆さん有料施設を利用しているが、低料金で誰でも気軽に通える施設がもっと必要なのではないか。

・情報発信

中々情報発信がうまく行っていない気がする。現在の少子高齢化社会の中で、元気な高齢者の受け皿であった老人クラブがあまり機能していない。高齢者向けのスポーツクラブがあるのなら、参加してみたいが情報発信がうまくいっていないのか、全く情報が無い。
施設には恵まれていると思う。指導者となれる人材の発掘ができているのでしょうか？不足なら、広報活動も必要。
やりたいスポーツが、どこでできるのか情報発信をわかりやすくする。
気軽にスポーツに参加できる機会を今後も広報などで、発信してほしい。
SNSでの普及活動が足りないように思います。どこかお年を召した方が運動するイメージをもってしまいうので、あちてらすなど新しい場所で朝の時間を使ってヨガなどをするとか、赤ちゃん連れのお母さんが来やすいように託児をするとか…。それをもっと発信すればいいのではないかと、思います。

スポーツ振興が何をしているのかなど、詳しい情報が市民レベルではわからないので、まずは、情報を市民へ流してほしいです。

・その他

指導者の育成、リーダーの養成、グループ結成の仕方、昔の様な青少年育成事業の様な機会を提供すること。地域で育まれていた機会が現在では無くなっている。子ども会とか青年団とか、それに代わるものが地域スポーツ振興だといっています。

プロ選手などトップアスリートが身近な存在としてあることで刺激を受けられる環境があること。また、運動を日常的に取り組めるよう働き方改革を進めること。

私は古い人間なのでスポーツはぼイコール身体運動と思っています。問1-2において、ニュースポーツと競技スポーツの説明があります。しかし、最近はeスポーツなる言葉があり、コンピューターゲームやビデオゲームを使った対戦もスポーツ競技として捉えられています。今後はアンケート調査をされる際には、その点をはっきりさせる必要があるのではないのでしょうか？

もっとプロ野球の試合を増やして欲しい。コロナ前は楽天のキャンプがマスカットスタジアム行われていました。復活して欲しいです。

地場のプロスポーツ組織(サッカー・バレーボール・バスケットボール・卓球等)の支援(予算等)を今以上に行っていただきたい。また、各種行事に選手を呼んでスポーツに触れる機会を増やして頂きたい。

プロ等の高度な技術に触れる機会の確保

屋内水泳センターはスポーツ振興だけでなく健康増進、生きがいづくりに寄与していると思います。子どもから年配の方まで利用されています。不便な場所に移転させないでほしいです。

今のままで充分です。スポーツだけが人生を豊かにするものではない。これ以上を望む人には、個人で必要経費を払い行ってもらいたい。何でも行政に依頼すればいいとは思わない。

プロスポーツの観戦ができるようにしてもらいたいです。コロナ前は阪神タイガースがマスカットスタジアムで公式戦を行っていたのに、コロナ後からなくなり非常に悲しいです。コロナ前も年間一試合ほどで、もっときてもらって試合をしてもらいたいです。プロの試合を子どもたちが観られる機会をもっと増やしてほしい。将来プロを目指してほしいし、目標にもなると思うので、子どもたちの運動能力の向上にもつながると思います。